

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～
**災害時の燃料確保
全国初の取組**

横浜水道

安全 安心
パートナー

水道局 2014 災害対策強化企画・第 12 弾

水道局では平成 26 年 1 月から 3 月までを強化期間として、様々な災害対策を推進しています

災害時の燃料供給に**御協力ください！！**

安全・安心パートナーは **35 者 80 がソリスタド**
1周年を迎え に御登録いただいています。

水道局では、地震などの災害発生時にも市民の皆さまに水道水をお届けできるよう、浄水場等への非常用発電設備の設置や給水車の配備などを行っています。これらの稼動に必要な燃料を確保するために、燃料事業者様の御協力を得て「横浜水道 安全・安心 パートナー（燃料供給）」制度を昨年 3 月にスタートしました。この 1 年間で御登録いただいた 35 者の事業者様に感謝するとともに、今後も多くの事業者様の御登録をお願いします。

「災害時の命の水の確保」に御賛同いただいた事業者様の御厚情に感謝



事業者様に「森のぬくもり感謝状」を贈呈
(水のふるさと道志水源林間伐材活用)



事業者様は店頭等に「横浜市水道局災害時協力店」ステッカーを表示していただくことで、社会貢献活動に取り組んでいるPRにつながります。

■ 事業者様に御協力いただく内容

- 1 給水車・民間事業者の復旧工事車両・他都市からの応援車両への店頭給油
 - 2 停電時に浄水場等のポンプを稼動する非常用発電設備へのローリー給油
 - 3 他都市被災地へのローリー派遣
- ※ 供給可能なものを選択して御登録していただきます。

■ 御登録いただいた事業者様の声

- ・「水も燃料も同じライフラインなので是非協力したい。」
- ・「緊急車両にはできる限り協力したい。」
- ・「CSRの具体的な行動として取り組みたい。」

■ 事業者様と水道局との共同給油訓練

1 月 17 日の「防災とボランティアの日」に 43 店舗のガソリンスタンドで実際に給油を受ける訓練を、12 の事業者様とローリー給油の連絡訓練を行いました。



詳細は水道局ウェブサイト トップページからアクセスできます！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/kyoku/torikumi/renkei/partner/partner-nenryou.html>

■ 協力事業者様 (35 者) 一覧 (平成 26 年 2 月末現在)

株式会社アセント (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社金子商会 (平成 25 年 6 月登録)
 久良岐屋石油株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社広栄商会 (平成 25 年 4 月登録)
 三和石油株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社新横浜サービスステーション (平成 25 年 4 月登録)
 第十興産株式会社 (平成 25 年 6 月登録)
 株式会社高善商店 (平成 25 年 4 月登録)
 鶴見油脂株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 有限会社二宮石油商会 (平成 25 年 6 月登録)
 株式会社藤岡商店 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社豊和石油 (平成 25 年 6 月登録)
 株式会社三浦商会 (平成 25 年 10 月登録)
 横浜油材株式会社 (平成 25 年 4 月登録)

株式会社神奈川アポロイル (平成 25 年 4 月登録)
 久良岐屋商事株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 国際油化株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社サンオータス (平成 25 年 4 月登録)
 山和石油株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社伸和石油 (平成 25 年 4 月登録)
 有限会社太陽住宅設備 (平成 25 年 4 月登録)
 有限会社千歳石油商会 (平成 25 年 4 月登録)
 日新商事株式会社 (平成 25 年 11 月登録)
 株式会社東戸塚石油 (平成 26 年 2 月登録)
 双葉石油株式会社 (平成 25 年 4 月登録)
 株式会社星 (平成 25 年 6 月登録)
 株式会社豊商会 (平成 25 年 4 月登録)
 有限会社吉田商店 (平成 25 年 4 月登録)

※ 上記のほかにも、社名の掲載を希望されない事業者様が 7 者いらっしゃいます。
 ※ 掲載は五十音順 (敬称略)

水道局ウェブページから
 下線部の事業者様のホーム
 ページにリンクしています

【参考】水道局 2014 災害対策強化企画について

水道局では平成 26 年 1 月から 3 月までを強化期間として、様々な災害対策を推進しています。
 (災害対策強化企画に関するお問合せ先 水道局総務課長 電話 045-633-0102)

第 1 弾：市民向けパンフレット「横浜市水道局の震災対策」の配布 【1 月 14 日発表】

A 4 版・本文 13 ページ、発行部数：18,000 部、配布場所：市民情報センター (市庁舎 1 階)・
 区役所・水道局地域サービスセンターほか。水道局ウェブサイトでも掲載しています。

第 2 弾：災害に備え、通信体制を整備しました！ 【1 月 16 日発表】

水道局では一般通信回線の断絶に備えて、水道局本庁舎と西谷浄水場の間に無線 (5GHz 帯) による
 データ通信設備を構築し、1 月 17 日 (金) の局防災訓練から運用を開始しました。

第 3 弾：京急電鉄と横浜市水道局の協働による備蓄啓発キャンペーン 【1 月 22 日発表】

実施主体：横浜市水道局、京浜急行電鉄株式会社
 実施期間：平成 26 年 1 月 27 日 (月) ~ 3 月 29 日 (土)
 取組内容：① 5 年保存 備蓄飲料水「横浜水缶」の限定製造「京急コラボ缶」の販売 ② 備蓄啓発 ラッピング電車
 (車内はポスタージャック) 「9 リットル備蓄号」の運行 ③ 京急上大岡駅で備蓄啓発イベントの実施

第 4 弾：地域と連携した応急給水訓練を実施しています。 【1 月 30 日発表】

地域防災拠点の小・中学校及び配水池等 39 か所で応急給水訓練を実施し、自助・共助の強化を推進します。

第 5 弾：災害時の材料不足に備え「横浜水道安全・安心パートナー (材料供給)」を募集します。 【2 月 12 日発表】

災害時の水道施設等の復旧を迅速に行うため、材料供給に御協力いただける事業者の募集を開始します。

第 6 弾：横浜市管工事協同組合と合同で地域住民参加の配水池訓練を実施 【2 月 17 日発表】

災害時の迅速な応急給水や配水管修繕の実現に向けて、横浜市初の 3 者合同防災訓練を実施します。

第 7 弾：京急電鉄の全車両 (約 800 両) に飲料水の備蓄促進ポスターを掲出します!! 【2 月 18 日発表】

京急電鉄の全車両の窓上広告に備蓄キャンペーンのポスターを掲出し、更なる備蓄促進を実施します。

第 8 弾：災害時等の通信体制を強化します！ 【2 月 28 日発表】

災害時等における水道局各事務所と現場・事務所相互の情報受伝達の強化のため、新たに PHS を導入しました。

第 9 弾：ご家庭における飲料水の備蓄割合はまだ 3 割弱!? 横浜水缶 特典付き販売を実施！ 【2 月 28 日発表】

ご家庭での 1 人 9 リットル以上の飲料水備蓄割合 29% (ヨコハマ e アンケート結果) を踏まえ
 横浜水缶の特典付き販売を実施します。

第 10 弾：京急上大岡駅で飲料水備蓄啓発イベント開催！ 【3 月 4 日発表】

1 月から横浜市水道局と京急電鉄の協働により実施している、飲料水備蓄キャンペーン。3 月 10 日から 12 日にかけて、
 京急上大岡駅で備蓄啓発イベントを実施し、市民の皆さまに備蓄促進を呼びかけます。

第 11 弾：交通局&水道局のコラボによる備蓄啓発を実施！ 【3 月 7 日発表】

交通局から、市営バス (約 800 台) と地下鉄ブルーライン (約 220 両) 全車両 (貸切バス、はまりん号等を除く) の
 広告枠を提供いただき、飲料水の備蓄を呼びかけるポスターを掲出します。

※ 今後も、3 月末にかけて合計 15 の取組を発表する予定です！

※ 災害対策強化企画に関する情報は水道局ウェブサイトにも掲載しています。

横浜水道 災害対策強化企画

検索

お問合せ先

水道局経理課長	富井 孝	電話	045-633-0109
水道局総務課長	直井 ユカリ	電話	045-633-0102